

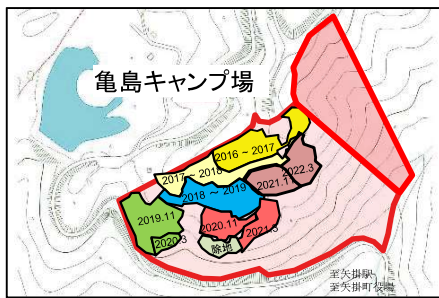
マツタロウの森

当社は、明治9年(1876)の創業以来、天然樹脂ロジン(松やに)の化学を起点に140年以上の歴史を歩み続けてまいりました。

2016年、創業140周年記念行事の一環として、岡山県小田郡矢掛町にマツタロウの森を開園することとなり、矢掛町と荒川化学の間で亀島キャンプ場近隣に有る矢掛町有林約3ヘクタールの利用契約を結び、約10年をかけて、約1万本の抵抗性アカマツを植林し、マツタロウの森を育みます。

岡山県「企業との協働の森づくり」への参画

- 2016年9月5日、矢掛町と森づくり協定書を締結
- 2016年11月6日、「マツタロウの森」の開園式、第1回の植栽を実施
- 以降、年3回(3月、7月、11月)活動を継続、これまで約1.57haに植栽
- 2026年まで約10年をかけて、約4.3haに約1万本の抵抗性アカマツを植栽予定



国土地理院地図



国土地理院地図



岡山県木であり矢掛町木でもあるアカマツを植栽

植栽活動は、大阪(本社、工場、研究所)、岡山(水島工場)などの従業員とその家族がボランティアとして参加します。県の専門家のアドバイスを受けながら、抵抗性アカマツを中心に植栽し、アカマツ林の再生を目指します。



矢掛町植栽場所全景



11月植栽

ロジンとは、松やにを精製した樹脂のこと。ネバネバした性質のロジンは、素材と素材をつなぐチカラを持ち、粘着テープや接着剤のほか、紙のにじみ止め薬品などにも活かされています。



松やに採取



ロジン



6年松



11月植栽



3月植栽

